

令和4度和歌山県立桐蔭中学校(学校経営方針)スクールプラン

和歌山県学校教育目標

- 未来を拓く「知・徳・体」をバランスよく備えた人を育てる
- 信頼される質の高い教育環境を整える
- 子どもたちの成長を支えるコミュニティを構築する

保護者・地域の願い

- 子供の学力・学ぶ力を伸ばして欲しい
- お互いを認め切磋琢磨し合う学校にしてほしい
- 地域に誇りをもち、国際的な視野にも富み、これからのグローバル社会のリーダーとして活躍してほしい

【学校教育目標】

- ・自ら人生を切り拓く人を育てる
- ・改革への情熱と伝統を重んじる心を育てる

【めざす児童(生徒)像】

- ・「文武両道」を実践しながら人間性を高め、これからのグローバル社会でトップリーダーとして活躍・貢献しようとする気概を持つ生徒
- ・自己の在り方生き方についてよく考え、自分自身を成長させることを意識し、地道な努力を重ねる生徒
- ・自主活動に主体的に取り組み、意欲的かつ自律的に努力する生徒

前年度の学校評価

- 家庭学習の質・量ともに充実させ、国際的な視野を持たせる指導の充実に加えて、生徒一人一人に応じて個性と学力を最大限に伸ばす指導を充実させる必要がある
- キャリア教育と関連した道徳の授業の一層の充実を図る必要がある
- アンケートを有効に活用し、専門家の助言を受けながら、個に対応した指導を充実させる必要がある

児童(生徒)の実態

- 基本的な生活習慣が身につき、資質・能力の高い生徒が多い
- 基礎的な学力が定着している
- 高い志や目標をもち研鑽に励む生徒を多く育てることが課題である

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎個性と学力を最大限に伸ばす指導の充実
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎国際的視野を高める取組の充実
- いじめの未然防止、早期発見
- ◎生徒の自主企画の充実

健やかな体の育成

- ◎自己肯定感を高める
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域に開かれた学校

- ◎地域の資源活用の推進
- 家庭・PTA・地域との連携充実

具体的な取組

- 定期考査問題の事前作成等、各単元で生徒に身に付けさせる内容を明確にした単元の指導計画を作成する
- 各授業のねらいを明確にし、学び合い高め合う学習活動の質を高め、自発的な学習を促す授業を構築する
- 定期考査の振り返りシートに加え、全国学調や県学習到達度調査(2回実施)の分析により、学習への取り組み方の改善に役立てるよう指導する

- 道徳とキャリア教育を関連させた指導計画を整え、授業を充実させる
- ◎国際的視野を高めるプログラムを積極的に周知する
- いじめアンケートを複数回実施し、未然防止・早期発見・対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、学ぶ機会をもつ
- 専門委員会を定期的に行い、生徒会行事や学校行事で生徒が企画・交流する主体的な学びの機会をもつ

- QUを導入し、専門家の助言を受け、個に応じた指導の充実に努める
- 道徳の授業や面談の機会を充実させ、生徒の自己肯定感を高める取組を進める
- 各種アンケートを生かして、基本的生活習慣を確立させる取組を進める
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する
- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開し、提言を受け、改善を加えていく
- PTAの活動を活用して、保護者や地域との交流を深める

指標

- ・アンケートの「わかりやすく丁寧で力がつく授業が多い」、「教材や教え方に様々な工夫をしている先生が多い」の項目で、肯定的評価96%以上を目指す

- ・「心のとびら」、「希望への架け橋」を積極的に活用する
- ・アンケートの「生徒会活動に積極的に取り組める機会が多い」、「生徒の活躍できる場が多い」の項目で、肯定的評価90%以上を目指す

- ・QU、各種アンケート分析に基づく、生徒への働きかけ回数の増加
- ・アンケートの「災害や不審者への対応の指導ができていく」の項目で90%以上を目指す

- ・地域の人材や文化施設等を活用した授業(オンライン含む)の実施回数
- ・ホームページに紹介した授業や行事、PTA活動等の記事の増加
- ・保護者、地域人材を活用した授業の実施回数の増加

◎：特に重点的に取り組むこと